



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月9日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL https://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	3,327	2.0	26	△25.4	49	△5.2	7	—
2025年5月期第3四半期	3,263	△5.3	35	△81.9	52	△75.3	0	△99.8

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 95百万円 (—%) 2025年5月期第3四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	0.19	—
2025年5月期第3四半期	0.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期第3四半期	5,592	4,851	83.7	121.54
2025年5月期	5,591	4,896	84.7	122.87

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 4,683百万円 2025年5月期 4,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,580	3.1	85	25.3	110	23.1	45	107.4	1.17

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) NEインベストメント株式会社、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期3Q	38,534,900株	2025年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	一株	2025年5月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期3Q	38,534,900株	2025年5月期3Q	38,534,900株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 2ページ以降の「当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続する一方、地政学リスクの高まりや米国の関税政策に伴う国内景気の下振れ懸念等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界は、企業における人手不足解消や競争力強化を目的とした生成AIの導入、業務効率化及び生産性向上に向けたDX（注）の推進等により、堅調に拡大しております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、クリエイション事業（コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等）及びソリューション事業（システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス）を推進し、事業規模の拡大及び収益の向上に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリア向け定額制コンテンツ等の減少により減収となりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、キッキング支援が大幅に伸長した他、コミュニケーション、交通情報の増加により増収となりました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は13億98百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は2億94百万円（同6.5%増）となりました。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、企業のDX推進及びAI導入を背景に様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、これまでの豊富な実績が評価され、アプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート、販売促進等クリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発等を推し進めたものの、復調途上のため減収となりました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、開発領域を中心とした高度IT人材による上流工程の常駐型支援サービスの拡大により増収となりました。

また「その他サービス」においては、ガラスコーティング剤等の販売が伸長し増収となりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は19億29百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は1億50百万円（同24.0%減）となりました。

<連結決算の概況>

当第3四半期連結累計期間における売上高は33億27百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は26百万円（同25.4%減）、経常利益は49百万円（同5.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円（前年同四半期は0百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

売上高については、「コンテンツサービス」「システム開発サービス」が減少したものの、「ビジネスサポートサービス」「業務支援サービス」「その他サービス」の増加に伴い増収となりました。

営業利益・経常利益については、キッキング支援（ツール）及びコミュニケーションが収益向上に寄与したものの「コンテンツサービス」が減収した他、キッキング支援（代行サービス）の伸長に伴う外注費等 売上原価の増加により減益となりました。一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益については、法人税等の減少により増益となりました。

（注）「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1百万円増加し、55億92百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の減少、売掛金及び契約資産の減少、商品の増加、仕掛金の増加、流動資産のその他(前払費用等)の増加により前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、46億81百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して30百万円増加し、9億11百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の増加、賞与引当金の増加、契約負債の増加及び流動負債のその他(未払費用等)の減少により前連結会計年度末と比較して46百万円増加し、7億41百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末と比較して45百万円減少し、48億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年7月11日に公表した連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2026年4月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<今後について>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する「クリエイション事業」における、一般消費者向け「コンテンツサービス」については、法人とのアライアンスを強化し成長を図ってまいります。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」については、特に引き続きキックオフ支援において高品質なツールを基にしたサービスの拡充で販売を促進し業績を大きく牽引してまいります。

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする「ソリューション事業」における「システム開発サービス」については、企業の高いIT投資意欲を背景にコンサルティング力を強化し、ITコンサルティングを軸としたトータルソリューションサービスの提供に向けて顧客の開拓と深耕を推し進めてまいります。

また、「業務支援サービス」については、AIの対応等で引き続きIT人材需要が高止まりする中、大手企業に対する豊富な支援実績を基に営業を強化してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,861,128	3,804,762
売掛金及び契約資産	751,249	739,580
商品	18,878	30,268
仕掛品	8,358	24,818
貯蔵品	165	203
未収入金	17,633	17,773
その他	54,347	64,730
貸倒引当金	△465	△465
流動資産合計	4,711,295	4,681,671
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,599	23,109
機械及び装置（純額）	190,164	174,601
土地	12,400	12,400
その他（純額）	21,165	16,854
有形固定資産合計	249,329	226,965
無形固定資産		
ソフトウェア	229,913	236,233
その他	5,438	4,834
無形固定資産合計	235,352	241,067
投資その他の資産		
投資有価証券	279,940	315,740
差入保証金	82,308	84,396
繰延税金資産	31,102	40,729
破産更生債権等	742	742
貸倒引当金	△742	△742
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	395,471	442,986
固定資産合計	880,153	911,019
資産合計	5,591,448	5,592,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,808	264,182
未払法人税等	31,385	27,398
未払消費税等	28,035	45,114
契約負債	42,179	86,967
賞与引当金	-	32,577
その他	311,075	200,842
流動負債合計	608,485	657,082
固定負債		
退職給付に係る負債	59,284	61,290
その他	26,890	23,165
固定負債合計	86,174	84,456
負債合計	694,660	741,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,730,355	2,602,656
株主資本合計	4,823,588	4,695,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88,913	△12,446
その他の包括利益累計額合計	△88,913	△12,446
新株予約権	3,448	4,417
非支配株主持分	158,665	163,292
純資産合計	4,896,788	4,851,152
負債純資産合計	5,591,448	5,592,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	3,263,056	3,327,838
売上原価	2,071,067	2,206,803
売上総利益	1,191,989	1,121,034
販売費及び一般管理費	1,156,515	1,094,560
営業利益	35,474	26,474
営業外収益		
受取利息	2,085	7,274
受取配当金	5,882	10,237
補助金収入	6,653	2,973
受取賃貸料	999	999
業務受託手数料	720	480
為替差益	-	308
その他	1,887	992
営業外収益合計	18,226	23,264
営業外費用		
支払利息	1,161	-
支払手数料	319	324
為替差損	118	-
その他	40	71
営業外費用合計	1,640	396
経常利益	52,060	49,343
税金等調整前四半期純利益	52,060	49,343
法人税、住民税及び事業税	46,360	39,583
法人税等調整額	△6,313	△9,626
法人税等合計	40,046	29,956
四半期純利益	12,014	19,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,726	11,875
親会社株主に帰属する四半期純利益	287	7,510

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	12,014	19,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,282	76,467
その他の包括利益合計	△74,282	76,467
四半期包括利益	△62,268	95,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,994	83,978
非支配株主に係る四半期包括利益	11,726	11,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間より、重要性が増したNE銀潤株式会社(2025年12月19日付でNEインベストメント株式会社(商号変更))を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,295,224	1,967,832	3,263,056	—	3,263,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,421	8,421	△8,421	—
計	1,295,224	1,976,253	3,271,478	△8,421	3,263,056
セグメント利益	276,929	198,338	475,267	△439,793	35,474

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△439,793千円です。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,398,222	1,929,616	3,327,838	—	3,327,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△47	7,570	7,523	△7,523	—
計	1,398,174	1,937,186	3,335,361	△7,523	3,327,838
セグメント利益	294,861	150,784	445,645	△419,170	26,474

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△419,170千円
であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	84,386千円	87,258千円